

馬車

渡久山水鳴



炭俵載せたる馬車は
やや高き坂にかかりぬ、
それを馭する人は肝やみ
くるしげにむちをば振ふ。
馬よりも人ぞ勞れぬ

底本：「沖繩文学全集 第1巻 詩※ [#ローマ数字1、1-13-21]」国書刊行会

1991（平成3）年6月6日第1刷

底本の親本：「沖繩毎日新聞」

1909（明治42）年5月25日

初出：「沖繩毎日新聞」

1909（明治42）年5月25日

入力：坂本真一

校正：フクボー

2018年2月25日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。